

「支える側が支えられるとき ～ 認知症の母が教えてくれたこと ～」



母は60歳の時アルツハイマー型認知症と診断され、84歳で亡くなりました。認知症を患ってからの24年間の母の心の不安、忘却への恐怖、病気による混乱とそれを支えた家族の心の葛藤を通して、認知症という病気や介護について、詩の朗読を交えてお話しします。母の介護の日々を振り返ると、母を支えていたと思ってきた私が、実は母に精神的に支えられ、育てられていたと深く感じるのです。

藤川幸之助

■1962年生。長崎大学大学院教育学研究科修了。

■著書をもとにNBC長崎放送が制作したラジオ番組「マザー・詩人藤川幸之助が綴った母との瞬間」が平成16年度民間放送連盟賞最優秀受賞、文化庁芸術祭参加作品となる。

講師：藤川 幸之助 氏

詩人 児童文学作家 日本児童文学者協会会員

日時：令和6年2月4日（日）

13：30～16：00 受付13：00～

会場：南足柄市文化会館 小ホール 裏面地図参照

対象：足柄上地域在住、または在勤の方

定員：250名（先着順に受け付けます。定員を超えた場合のみ、連絡いたします。）

受付：FAX・郵便はがき、または、Google フォーム(右上QRコードから入力)にて受付

※裏面申込書に記入して、FAX送信、または、郵便はがきに貼り付けて、ポストに投函

問合せ：足柄上地区在宅医療・介護連携支援センター(主催) TEL 0465-43-8172

FAX 0465-43-8176 / E-mail renkei2017@soleil.ocn.ne.jp

共催：(一社)足柄上医師会・小田原保健福祉事務所足柄上センター

・南足柄市・中井町・大井町・松田町・山北町・開成町

後援：(一社)足柄歯科医師会・(公社)小田原薬剤師会・あしがらケアマネジャー連絡会

参加費：無料



※ 郵便はがきでお申し込みの場合は、
63円切手お貼りください。

— 宛先 —

〒258-0003

足柄上郡松田町松田惣領866-1

神奈川県立足柄上病院内

足柄上地区在宅医療・

介護連携支援センター 行

FAX 0465-43-8176

講演会当日、講師 藤川幸之助氏の著作、
書籍販売を行います。

harunosora

代表者
ご氏名 (ふりがな:)

ご氏名 (ふりがな:)

ご氏名 (ふりがな:)

ご住所 ※ 該当する市町を○で囲んでください
その他の方は、市町名をお書きください
南足柄市・中井町・大井町・松田町・
山北町・開成町・その他()

連絡先(代表者のみ)

TEL

FAX

※ FAX は、申込書が読み取れるように送信してください



会場交通案内

会 場：南足柄市文化会館 小ホール
(南足柄市関本 415 - 1)

- ・電車でお越しになられる方
伊豆箱根鉄道大雄山線「大雄山」駅下車、
徒歩5分
- ・バスでお越しになられる方
小田急小田原線「新松田」駅から
箱根登山バス「関本」行き
 - ・「南足柄郵便局」下車、徒歩5分
 - ・終点「関本」下車、徒歩5分

扉
とびら

認知症の母を
老人ホームに入れた。

藤川幸之助

認知症の老人たちの中で
静かに座って私を見つめる母が
涙の向こう側にぼんやり見えた。
私が帰ろうとすると
何も分かるはずもない母が
私の手をぎゅっつかんだ。
そしてどこまでもどこまでも
私の後をついてきた。

*

私がホームから帰ってしまうと
私が出ていった重い扉の前に
母はびったりとくっついて
ずっとその扉を見つめているんだと聞いた。

それでも
母を老人ホームに入れたまま
私は帰る。
母にとっては重い重い扉を
私はひょいと開けて
また今日も帰る。

『満月の夜、母を施設に置いて』

(中央法規)